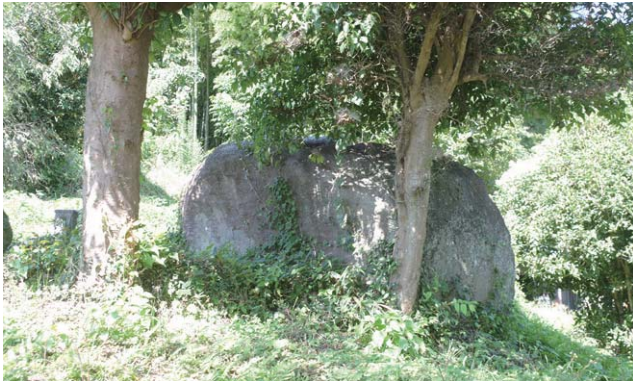


## 安居山

### こおり いし 郡 石



郡石は、江戸時代の地誌『駿河記』に、「<sup>はちまん</sup>八幡の祠の右の方の山の中にある富士郡の形をした大きな岩で、長さは九尺(約2.7m)」と記されています。大宮町誌(1930年)には、「富士郡三石の一つ」とあります。

また、鎌倉時代の初めに富士の裾野で富士の巻狩を行った源頼朝が、安居山太郎信定の館で、信定の流鏑馬を見た際に、腰掛けた庭石と言われ、「腰掛石」とも呼ばれています。



### あん ぬま よう すい ずい どう 安沼用水隧道出口



安沼用水は、安居山と沼久保を潤す用水です。猫沢地域で芝川から水を引き入れ、西山から安居山の山中に隧道(トンネル)を掘り、水を通しました。用水の工事は明治25(1892)年に地元の有志により始められ、明治28年には全長1,550mの隧道が開通しました。

この用水によって、安居山・沼久保地域の畑作地の水田化が進みました。



### 用水路の整備

富士山の湧水に恵まれる富士宮市では、地形などによって水のある場所とない場所に分かれています。

江戸時代、水のない地域では、幕府や村の役人が中心となり、芝川や潤井川などから水を引くための用水路を造りました。

用水路の整備によって、生活に必要な水を確保できたり、荒れた田畑を開発して水田にするなど、人々の生活は豊かになりました。

### 歩く博物館 Oコース<安居山地区> 安居山用水の里を歩くコース

市役所6階文化課、郷土資料館(文化会館内)、出張所または市公式サイトなどにあります。

HP トップページ>市民の皆さんへ>教育・文化・スポーツ>郷土資料館>歩く博物館



### 歩く博物館ガイドブック

全24コースの地図と解説付きです。

料 500円

申 市役所6階文化課、埋蔵文化財センターの窓口で

他 郵送で購入したい場合は、電話またはメールでお問い合わせください。

問 文化課 ☎22-1187

✉ e-bunka@city.fujinomiya.lg.jp

有料  
ガイドブック

